

◆子宮体がん

子宮体がんは、子宮の奥にあたる体部のうちの内膜から発生します。内膜は生理の時にはがれてしまうので、閉経前の女性には体がんの発生は多くなく、50歳以降で多くなります。

●市の子宮がん検診（集団検診または個別検診）

対象 20歳以上（平成26年3月31日時点）で偶数年齢の女性

方法

・集団検診（頸がん）：問診、内診、子宮頸部細胞診

・個別検診（頸がんおよび体がん）：問診、内診、子宮頸部細胞診。医師が必要と認めた方のみ、頸がん検診にあわせて子宮体部細胞診を行います。※子宮がん検診は昨年度受診していない奇数年齢の方も対象となります。

乳がん
～女性のかかるがん第1位～

乳がんは、日本人女性のかかるがんでは第1位で、かかった数も死亡数も年々増えています。30歳代から増加し、50歳代前後を中心にピークがあります。

●市の乳がん検診（集団検診）

対象 30歳以上（平成26年3月31日時点）で偶数年齢の女性

方法

・30歳代の偶数年齢の方：問診、視

触診

※ただし、30歳代の方でも、医師が必要と認めた方はマンモグラフィ撮影を受けていただきます。

・40歳以上の偶数年齢の方：問診、視触診、マンモグラフィ撮影

※子宮がん検診同様、昨年度受診していない奇数年齢の方も対象となります。

※集団検診とは、各保健センター、ふれあいセンター久喜等で行う検診、個別検診とは、市内委託医療機関で行う検診のことです。

久喜市のがん統計（平成23年 人口動態統計年報結果表より）

●死因順位別にみた死亡総数に占める割合

- 第1位 悪性新生物（がん） 30.2%
- 第2位 心疾患 16.5%
- 第3位 肺炎 12.1%

●悪性新生物（がん）の部位別死亡順位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	食道
女性	大腸	肺	胃	乳房	胆のう
男女計	肺	胃	大腸	肝臓	胆のう

がん相談支援センターをご存じですか

がんについてのいろいろな相談ができる「相談支援センター」が、全国のがん診療連携拠点病院に設置されています。相談支援センターは、がんのことやがんの治療について知りたい、今後の療養や生活のことが心配など、がんの医療に関わる質問や相談ができ、患者や家族の方など、誰でも無料で利用できます。

センターでは、がんについて詳しい看護師や生活全般の相談ができるソーシャルワーカーなどが、相談員として質問や相談に応じます。久喜市近郊のがん相談支援センターは次のとおりです。



＜久喜市近郊のがん相談支援センター＞

- 県立がんセンター 相談支援センター（伊奈町） ☎048-722-1111
- さいたま赤十字病院 医療福祉相談室（さいたま市） ☎048-852-2861
- さいたま市立病院 がんなんでも相談室（さいたま市） ☎048-873-4111
- 春日部市立病院 相談支援室（春日部市） ☎048-735-1261
- 獨協医科大学越谷病院総合医療相談部 腫瘍センター相談支援部門（越谷市） ☎048-965-1111

※予約が必要な場合がありますので、事前に各相談支援センターへお問い合わせください。

※その他の相談支援センターやがんに関する情報は、国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」のサイト（<http://ganjoho.jp/public/index.html>）で調べることができます。